SKI ASSOCIATION OF TOKYO

No. 21

発　行　(財)東京都スキー連盟
〒102 千代田区麹町4-5
第6麹町ビル 551号
℡(262)2491(代)
発行日　昭和62年12月21日
編　集　SAT編集委員会
印　刷　エース工芸株式会社

(財)都連
公認スキー場について

(財)東京都スキー連盟
総務部長　岡田興一

近年、スキー場や関連施設の新設や増設がさかんに見られるようになりました。また、その充実した内容に接することはスキー普及に努める私どもの立場から考えますと誠によろこばしいことであります。

しかし、スキーに親しまれる人たちも年々増加するばかりで、休日のゲレンデはどこも超過密状態となって、十分に滑りを楽しむのも難しい現状にあります。

雪のない所からはるばる出かける私ども都民にとっては、このことが一つの悩みといえましょう。

さて、(財)東京都スキー連盟では、東京からの距離が比較的近く、しかも降雪機等を利用して年末の早い時期から滑走可能なスキー場として、また、今日まで主として(財)都連主催基礎スキー関係行事開催に積極的にご協力いただいているスキー場および施設を(財)都連指定スキー場として公認しております。今回第3番目の指定スキー場として車山スキー場を公認いたしましたのでここにあらためて3スキー場をご紹介いたします。

(財)都連会員はもとより広く都民のみなさんの体力向上とスキー技術習得にご利用されますよう希望いたします。

また、スキー場に関係するみなさんにおかれましては、今後ともたゆまぬ創意と情熱をもって、雪のない都民スキーヤーに親しみやすい環境づくりに一層のご尽力下さるようお願いする次第であります。

公認証を手渡す都連岡田総務部長（右）

(財)東京都スキー連盟公認第1号スキー場

菅平高原スキー場

菅平高原観光協会
常任理事
事務局長　小宮山明男

昭和51年1月、公認第1号スキー場としての光栄に浴してから既に10年のシーズンが過ぎ去りました。この間、東京都スキー連盟の皆様方から賜ったご愛顧に対して心より感謝申し上げるものでございます。そして更に溯り菅平高原スキー場開設以来60余年の長い歴史の中に都連の皆様方から賜った恩恵には、菅平の私共は御礼の言葉もございません。本当にありがとうございました。

長い歴史の中には、ご迷惑をお掛けした事も多々あったと存じます。その最たるものが雪不足でありました。そしてその雪不足が菅平の最も泣き所でもありました。あるシーズンには2月下旬の準指検定の際に雨がジャンジャン降って、地元の私共も半分泣きべそをかきながら林の中から雪出しをして裏太郎のコース作りをした事もありました。

人工降雪機（スノーマシン）の導入

その苦い経験の中から考え出されたのが、人工降雪機の導入であります。しかし現在のように国産品が無かった時代で外国産の機種の選択にも海外まで出かけて視察を行うなど大変な時期でもあり、又今と反対にドル高、円安の時代で並大低ではありませんでした。その為に準備の段階で何年かが経過してしまったのが事情です。その間冬の菅平の入り込みは減少の一途をたどって行ったのであります。『これでは冬の菅平は、終ってしまう』ここまで来て弱小企業の集合体である菅平も一本にまとまって人工降雪機の導入に踏み切ったのでありました。数々の試行錯誤の中に、都連の先生方からの助言も頂き、遅々としてではありましたが各ゲレンデにスノーマシンが設置されていったのであります。その後地元企業の樫山工業㈱に性能の良いマシンが誕生した事もあり、現在ではほぼ全ゲレンデに完備致しました。そしてその努力を都連の先生方に早速認めて頂き、12月の指導員研修会を菅平に指定して頂いたのであります。地元の私どもは、多少の不安もありましたが有難くお受け致しその事が又雪づくりの励みになりました。最初のシーズンは暖冬で他のスキー場が、ほとんどこの時期雪が無かった中で、菅平の裏太郎には、十分とはゆかないまでも雪があって、どうにか面目を保つ事が出来ました。お誉めの言葉も頂き大変嬉しいシーズン・インであった事を記憶して居ます。

都連の皆様のお蔭をもちまして、一般スキーヤーからも認められ、離れて行った方々も段々戻って来て頂くようになりました。特に12月中旬以降年末までのお客さまが増えた事が大きな特徴と言えます。特に昨シーズンは、他のスキー場が雪不足で苦慮された中、菅平は全面滑走可能となって、寒い菅平でのスノーマシンの威力を十分に発揮してくれました。

都連の皆さま方には、ここでも深く感謝を申し上げなければなりません。

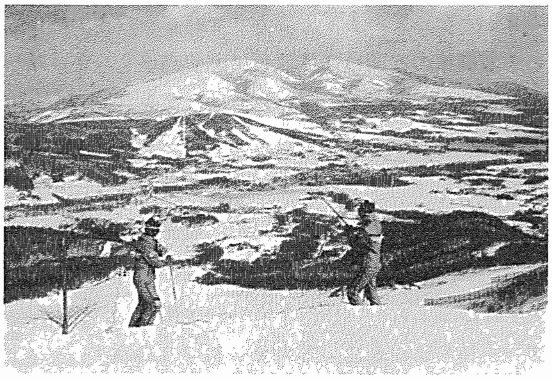
新しい観光会館の建設

ゲレンデはどうにか研修会の為に確保されたものの屋内の全員ミーティングの場所については、現在も大変ご迷惑をお掛けして居ます事を心苦しく存じて居ります。ゲレンデに近い所から『ホテルやまびこ』の体育館をお借りして、畳を敷いたり、椅子を並べたり種々とやっては居りますが、満足頂ける筈も無く本当に申し訳ない事であります。心よりお詫びを申し上げます。

そこで先生方にお願いを致します。今シーズンだけ恐縮ですが我慢頂けませんでしょうか。来シーズンには新しい観光会館が誕生しそうなのです。永年の懸案であったこの会館も、先程も申し上げましたように弱小企業の寄り合い世帯の菅平では、大変難しい問題でありましたが、今度は行政サイド（真田町）も力を貸してくれる事になりまして来シーズンに間に合う様建設のメドがたったのであります。立派なものとは言えませんが、今までの様なご迷惑をおかけする事無く全員ミーティングが出来ると確信して居ます。繰返してお願い致します。大変申し訳ございませんがご寛容の心をもって今年だけお許し下さい。

新チャンピオンコースの誕生

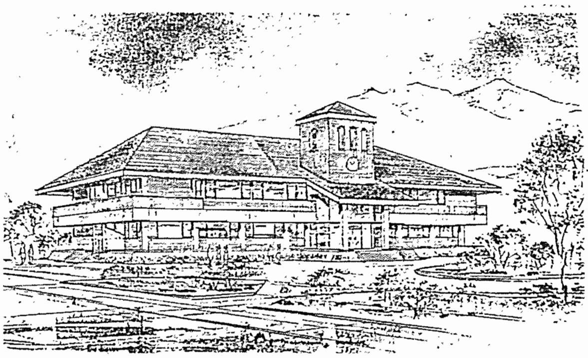
菅平の私共は、都連のより多くの皆さま方に菅平高原スキー場をご利用頂きます事を願って居ります。それには競技会場としても是非使って頂く事をお願いする為に、昨シーズンには小川競技部長殿を煩わし、現地調査をお願い申し上げ、その調査報告書も頂戴して居ります。調査報告書の主旨に従って、今シーズン大松山ゲレンデに新チャンピオンコースを誕生させ現在公認コースとしての申請を行って居ります。将来は『国体』誘致も考慮した大回転コースであります。このコースを東京都の皆さん方の競技会場としてご使用頂く事が出来れば、地元としてこんなに嬉しい事はございません。小川先生には、是非今シーズン再度ご視察賜ります事をお願い申し上げます。



今シーズンのプロフィール

今シーズンも、教育部公式行事が、3回菅平高原をご利用頂いて行われる事になって居ます。その皮切りが12月11日～13日の指導員研修会であります。暖冬が心配されておりましたが、ここに来ての降雪と、寒さによって可能となった人工降雪機のフル稼動によって、ゲレンデはほぼ整備されました。より良い状態の中で滑走頂ける様地元の私共は現在準備を進め、今シーズンも第1号公認スキー場の名に恥じない体制で皆様方のお越しをお待ち申し上げます。どうぞ宜敷くお願い申し上げます。

今シーズン新しくなった施設等について以下ご案内を申し上げます。



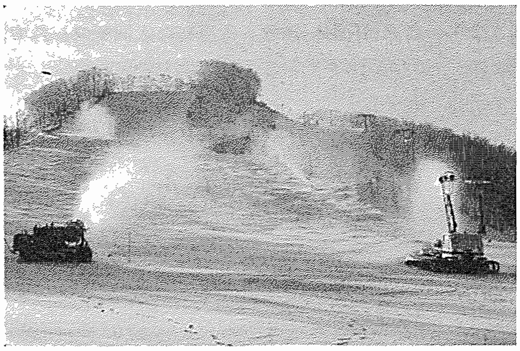
- 奥ダボス第1トリプルリフトは、フード付きとなりました。
- ダボス第1トリプルリフトがフォーリフト（4人乗り）になりました。
- 白金リフトがトリプルになりました。
- つばくろ第1リフトはペアとなり距離1,020mと 延長されました。

(財) 東京都スキー連盟公認スキー場

志賀高原サンバレースキー場

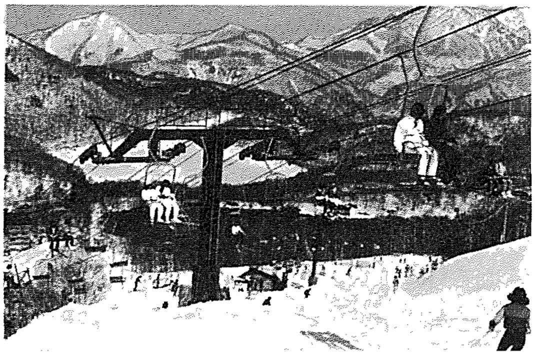
春　原　幸　雄

スキー場の歴史は志賀から始まると云われ、昭和の初期から60年余りになり、4基のゴンドラリフトを始め、4人乗り3人乗り等全部のリフトは79基に及び、標高1400米から2300米まで、シーズンも、11月中旬から5月下旬までと、全てが日本を代表する規模となっております。また、変化に富んだゲレンデは22もあり、長期滞在型のスキー場として都会のスキーヤーの憧れのまととなっています。志賀サンバレースキー場はこの志賀高原の玄関口に位置して志賀高原全スキー場への基地となっていて、晴れた日にはスキーシャトルリフトの乗り継ぎによりお好みのゲレンデツアーが楽しむことが出来ます。志賀と云えば粉雪という印象が強く腰まである新雪の深雪は殆んど抵抗がなく、これこそスキーヤー天国と思われます。10年前からスノーマシンを設置したのは何故かといいますと、スキーシーズンを待ちこがれているスキーヤーの為のサービスとして、只ひたすらに11月中旬オープンを目標に雪を作っている次第です。スノーマシンに依るオープンは今年も全国のトップでありました。この技術を応用して昨年から5月の連休も多くのスキーヤーに春スキーの楽しさを提供することが出来ました。鯉のぼりをはためかせた、スキーもまた楽しいものです。88年5月には春山スキーカーニバルが趣向をこらして開催する予定になっております。東京都スキー連盟とお付合いが始ったのは昭和52年度からの準指導員検定からで、すでに10年余りとなりました。この間多数の準指導員が誕生し皆さん活躍されています。昭和54年世界7か国からの参加でミニインタースキーが開催され、昭和55年と56年には全日本フリースタイルスキー選手権が行われ、56年に全日本スキー連盟中央研修会が実施されました。その他県連の検定会など数多く行われ、12月の第1日曜日は今年で第5回目の全国のスキー場にさきがけて、オープニングカップを開催し、3月の月間スポーツ大会、昭和56年よりオールジャパン志賀学生



スキー選手権など数多くのイベントのお手伝いをして参りました。当スキー場の特色はゲレンデを囲んで7軒のホテルからリフトの乗り場までスケーテングで5～6回でリフトの乗り場まで到着する距離にあります

なお、ナイタースキーも昭和35年からで、毎週水曜日はナイタースラローム大会が12回開催されます。御家族で参加されたら楽しさ倍増です。申しおくれましたがサンバレーの名称は昭和48年米国アイダホ州のサンバレースキー場と山ノ内町の姉妹提携記念に旧法坂スキー場が改命されました。本家サンバレーは米国一の歴史と風格のあるリゾートスキー場で志賀高原ストリートが友好交換されました。また、スキーの合い間にゲレンデの隣りにある丸池で放し飼いの白鳥や野性のカモなどの観賞ができます。今後も良いスキー場作



りに努力して参りたいと思います。よろしく御指導の程お願い申し上げます。どうぞお気がるにお出で下さいますよう心からお待ち申し上げます。終りに都連会員みなさまのご活躍をお祈り申し上げます。

(財)東京都スキー連盟公認スキー場

車山高原スキー場

信州綜合開発観光株式会社
常務取締役　山崎和雄

先づもって御紙面をお借りして当スキー場のご案内をさせていただきますことを厚く御礼申し上げます。

昭和５年に(財)東京都スキー連盟様の指導員研修会会場として、ご来山いただきまして以来、毎年、公式行事を含め多数の会員の皆様にご利用いただき諸先生方からも温かい御指導を賜って居りますことを、改めて深く御礼申し上げます。

当スキー場も皆様からの数々の御指導を得ながら、毎年関係施設、設備の拡充を計って居り、何んとかご期待に添えるスキー場を目指して努力いたして参りました。

本年は思いがけなく、ご評価を賜り、日本一の組織をもちます(財)東京都スキー連盟様の公認スキー場としての御認定の栄を授り、当スキー場にとりまして、この上ない光栄であり喜びであります。誠に有難うございました。このことをはずみとして、更に充実したスキー場造りに懸命に頑張る所存でございます。変らぬご厚情を心から御願い申し上げます。

車山高原スキー場は、昭和41年に開設いたし22年に成ります。雪国信州にあって当地域は太平洋岸気象の影響を受けるところで比較的降雪が少なく冬季は晴天日の多いところでスキー場運営には雪のハンデに苦労するところです。

昭和52年より、シーズン120日の安定を得る為、日本で初めて大型のスノーマシンを導入いたし丁度、その年の暖冬のなか、力を発揮して多くのスキーヤーに応えることが出来ました。その後毎年増設を計って参り現在は、世界最大のワールドマシンを含め、20基のマシンで全コースの配備がなされました。

シーズンを通して常に安定したコース造りに自信をもてる様に成りました。また、この地方は大変乾燥するところから降雪は殆んどが粉雪に近く雪質は、誠に良いことと、晴天率70％と明るい日差しのスキー場が、特徴でもあります。

〈スキー場概要〉

○標高　1925ｍ～1560ｍ（標高差 365ｍ）

○総面積　76 ha　北東斜面

○平均積雪　160cm

○滑走可能期間　12月上旬～４月中旬

○ゲレンデ　５ヶ所

○コースゲレンデ難易度

上級 30％　中級 40％　初級 30％

コース名	難易度	標高差	滑走距離	最大斜度	平均斜度
①フレンド	初・中級	130ｍ	600ｍ	28度	18度
②ビーナス	上級	280ｍ	1000ｍ	35〃	21〃
③スポーツマン	上級	200ｍ	750ｍ	38〃	23〃
④アルペン	上級	200ｍ	1500ｍ	37〃	16〃
⑤トレビアン	初、中級	130ｍ	450ｍ	28〃	16〃
⑥ファミリー	初級	140ｍ	750ｍ	25〃	12〃
⑦第9パラレル	初級	110ｍ	600ｍ	25〃	15〃
⑧パノラマ	中級	340ｍ	2000ｍ	38〃	15〃
⑨アップヒル	中級	60ｍ	300ｍ	26〃	20〃

○リフト　８基10本　高速クワッドリフトあり
○ナイター　ファミリー、フレンド、アップヒルの
　　　　　３コースあり、シーズン中毎日営業
　　営業時間　平日22時、土曜・祝前日23時まで
○オールナイト
　12/31(木)　1/16(土)　2/27(土)　３月の毎土曜日

〈レンタルスキー・ウェア〉

スカイゲイト・スカイプラザにて扱っています。
全て、内外一流ブランド　2000セット

〈レンタルビデオ・カメラ〉

スカイゲートにて扱っています。

〈ロッカー・更衣室〉

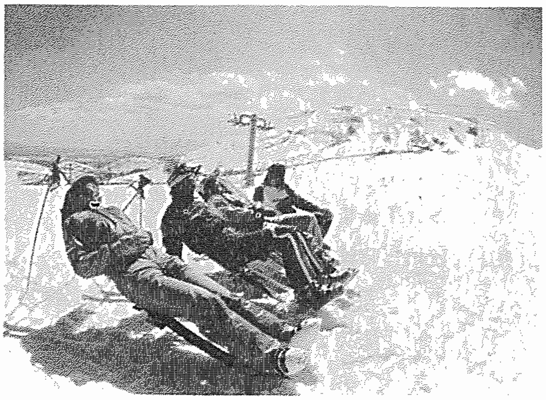
スカイプラザ・スカイシティにあります。
また、スカイゲイトには、シーズン中スキー板をお預りするシーズンクローク、連泊に便利な１日クロークあり。

〈託児所〉

スカイゲイト内の託児所において、５才までのお子様をベテラン保母が大切にお預りします。

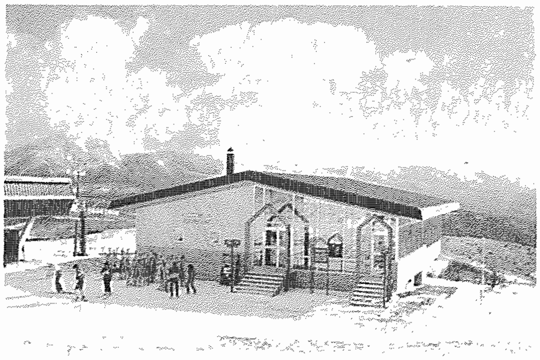
〈レストラン〉

スキー場内には４ヶ所あります。
昨年オープンした“トップス360°”は スカイライナー山頂停留所横に位置し、窓から、富士山・八ツ岳連峰の景色を眺めながらのランチタイム・コーヒータイムは、特に最高。



〈宿泊施設〉

ホテル、ペンション、リゾートイン、ロッジなど60軒の宿があります。人数予算に応じて宿泊施設を選ぶことができます。
　また、スカイシティ内には、夜遅く到着されるお客様のために、半泊専門の施設が用意されています。昼間は休憩室として御利用して頂けます。

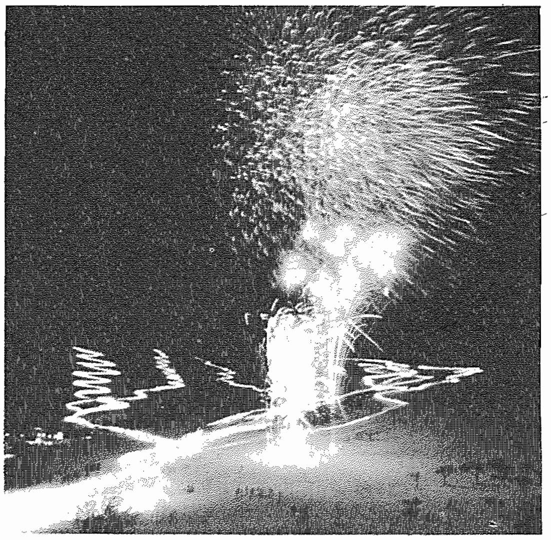


〈駐車場〉

４ヶ所の駐車場あり、合わせて2000台駐車でき、全て無料。
第４駐車場からゲレンデまで無料送迎バスを運行しております。

〈無料送迎バス〉

車山高原内をはじめ、ＪＲ茅野駅・白樺湖より無料送迎バスを運行しています。
　ＪＲ茅野駅発　10：00、22：30運行
　白樺湖←→車山間は路線バスに合わせて常時運行。



　以上概略を御説明させて頂きましたが、これからも皆様のご指導ご鞭撻を賜わり、より良いスキー場、愛されるスキー場として努力してまいる所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

車山高原スキー場

志賀高原サンバレースキー場

菅平高原スキー場

編集にあたって

新しい年度行事もすでにスタートして、会員みなさんはますますお元気で、いきいきご活躍のことと思います。㈶都連が三つ目のスキー場を公認できましたことと、関係の3スキー場から私たち都民スキーヤー歓迎のメッセージをいただきましたので、ここに紹介することにしました。3スキー場をご利用にあたってお気付き事柄がありましたら、都連総務部までどんどん文書またはお言葉でお伝え下されば誠にありがたく存じます。よりよいスキー人生のために、「人も場も」一体となってすすみたいものです。

今シーズンのご活躍を大いに期待して、

シー・ハイル!!

SAT編集委員会

委員長　内田　時雄

委　員　市川　友之　　亀谷　　真　　中村　暢男

中川　捷一　　塚本　哲夫　　山田　幸三

三瓶　一男　　本間　毅一　　村上万里子